

議案第 1 号

平成 30 年度 社会福祉法人おひさま福祉会 事業報告について

平成 29 年度から認定こども園にじの開園準備を進めて、平成 31 年 4 月 1 日より幼保連携型認定こども園にじは、一時預かり拠点園としての機能を備え予定通り開園することができた。認定こども園にじは、敷地面積 2897.12 m² 木造平屋建て 建築面積 992.88 m²である。建設はイワコンハウス新潟が請け負い建設費 252,900,000 円となり、建築設計は株式会社クレイズプランが行い設計費 15,200,000 円となった。園庭は、フィールドスケープが 4,698,000 円、株式会社西野が 2,278,800 円（ブランコ・ハウス）で造成を行った。資金としては、土地建物を担保に第四銀行より 2,250,000,000 円の融資を受けた。新潟市私立保育園建設費補助金 154,423,000 円を受けた後、第四銀行に返済し残額を今後 64 回に分けて支払っていく予定である。

また、開園に先立ち平成 31 年 3 月 23 日に内覧会を開き、入園予定者及び地域住民が多数来園した。翌 3 月 24 日には関係者出席のもと竣工式及び祝賀会を盛大に行った。

認定こども園にじは、開園時の園児数は 59 名でスタートした。今後、定員数（81 名）獲得に努めていきたい。

定員 69 名の認定こども園あおぞらは平成 30 年度、園児 77 名、職員 24 名、認定こども園おひさまは、園児 70 名 職員 29 名でスタートした。認定こども園にじの開設に伴い平成 31 年度の職員として、保育教諭 10 名 非常勤保育教諭 11 名 非常勤調理員 1 名の採用を決定した。

また昨年度より継続して、保育教諭としての幼稚園教諭免許及び保育士資格の両方の資格取得も行い資格獲得に努めた。

認定こども園に移行して最初の年だったが、1号認定の園児も入園しスムーズに運営を行うことができた。また年度途中、保護者の希望により 1号認定から 2号認定への変更も行うことができた。

教育・保育面では、平成 29 年度施行の新教育・保育要領への理解を深めるために、各園で幾度となく会議を設け職員間の共通理解を図り、園児の主体性のある教育・保育内容を実践してきた。また、園外研修として認定こども園あおぞらは、年間 50 回、認定こども園おひさまは 46 回の研修を受け教育・保育内容の質の向上に努めた。園内研修も様々なマニュアルの把握のため年間計画を作成し行った。平成 31 年度は、新採用職員も増えることから、更に園内外研修を行い職員間の共通認識のもとで教育・保育を向上させるべく研鑽を積んでいきたい。

今後は、少子化傾向にあるため園児確保対策と施設及び備品の老朽化対策を行う必要がある。